

兄弟関係と価値観


——生まれ順に基づく経験の違いは、価値観の違いにどう影響しているのか——

所属 中京大学現代社会学部 岡部ゼミ 氏名 高橋茉央

<研究背景>

今まで長女の人と仲良くなるが多かった

兄弟構成は価値観に影響する？
家族とは??




<調査内容>

- アンケート(2019/09)対象:主に大学生男女34人。
- インタビュー(2020/01)対象:周りの大人5人。
内容:子供のころの兄弟・家族とのかかわり
- 文献調査(2020/09):家族について等


アンケート (自分が〇〇(例:末っ子)でよかったこと、不満に感じたこと)

◆1人っ子



- 親からの愛、お金を一身に受ける
- 親の老後や葬儀は自分がしなければ!

◆長男/長女




- 新しいものが買ってもらえる
- 責任感が芽生える
- 年上なんだから～と言われる

◆次男/次女



- 受験諸々の流れが分かる
- 適当に育てられる
- 上と比較される

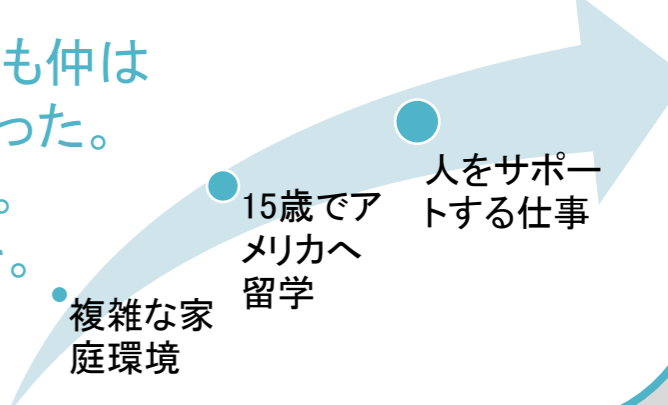
◆末っ子



- 甘えられる
- 兄、姉を見て失敗を避けれる
- 甘やかされて育てたという見識に嫌気
- みんなに同時に叱られる

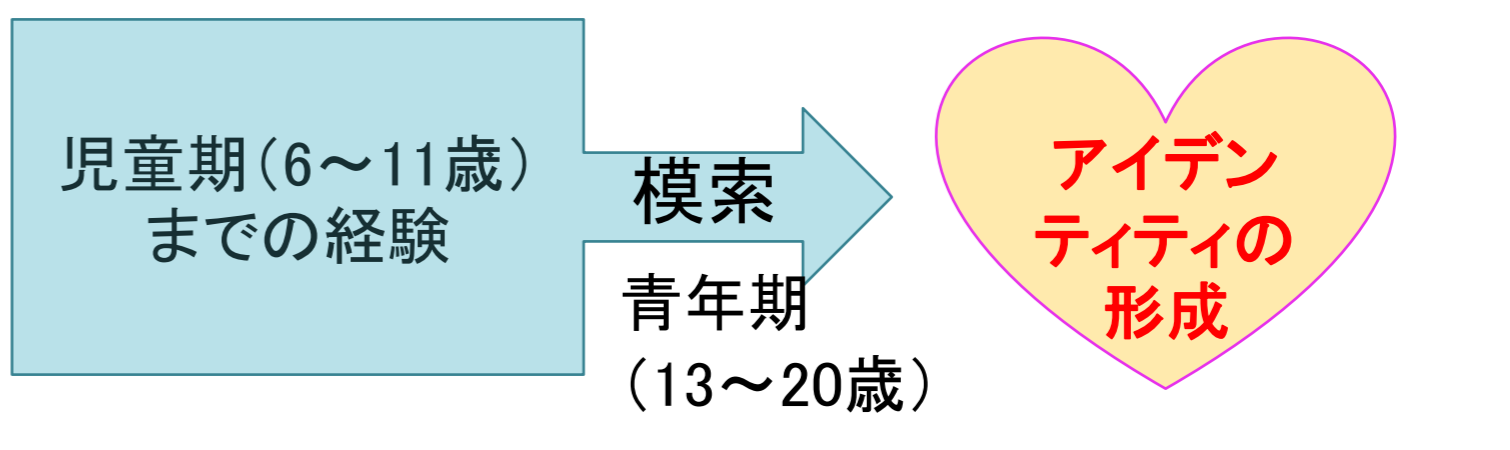
インタビュー ◆Aさん(通訳、大学講師、多文化共生など幅広く活動・二児の母)

- 親が離婚→妹は父に、Aさんは母に引き取られた。久しぶりの再会で揉めたため、距離を置くようになった。
- 留学は家を出るための手段だった。
- 今では父と近くに住んだり、母と妹とも仲は良くなった。あの時距離を置いてよかった。
- 留学時にたくさんの人に助けられた。今はその恩返しができるような活動を。



文献調査

- 核家族…夫婦と未婚の子供
日本では第二次世界大戦後に普及した、近代的な概念。
- アイデンティティの形成…
児童期(6-11歳頃)までの経験を土台にして、各自がもつばら青年期(13-20歳頃)に意識的無意識的に模索し選ぶ。



<参考文献>

- 『問から始める家族社会学』2015/3/10 岩間暁子、大和礼子、田間泰子 有斐閣ストウディア
- 『家族関係学入門』2004/2/1 瓜生武 日本評論社

<考察>

- アンケートでは、同じ生まれ順の人に共通した経験が見られた。その共通した経験が、似たような価値観に繋がるのでは?
- 核家族という家族モデルは近代化に伴い作られた概念である。実際は核家族の型にはまった家族ばかりではないことがインタビューを通してわかった。
- インタビューでは、幼少期の経験がその後の人生に影響している人が多かった。(実家が飲食店→副業で飲食店、幼少期から家族に居場所がなかった→一人が好き…) 育てられ方が価値観やその人の人生にどう影響するかを調べてみたい。

アイデンティティは経験によって形成されるので